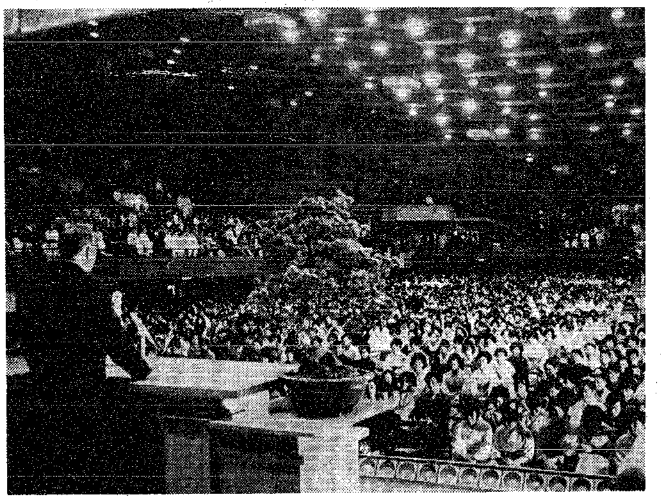
新成人七千八百人が誕生

会場は晴れ着でいっぱい

県下一のマンモス成人式が市体育館で行なわれました。この日の出席者は五千五百人。会場は背広、訪問着で着飾った若者でいっぱい。式典のあと、日本舞踊などのアトラクションも行なわれました。



5,500人の若人で埋まった会場（体育館で）

去る十五日、市体育館で成人式が行なわれました。当日はあいにくの吹雪とあって、出足が心配されましたが、新成人七千七百六十七人（男三千八百十五人、女三千九百五十二人）のうち約五千五百人が出席。

式典は午後零時半から開かれ、石川市教育長、新津教育委員長の式辞に続いて、渡辺市長、村山市議会議長らが祝辞。次いで石山実、斎藤豊子さんの二人が成人を代表して「社会のために尽くします」と答えました。会場では石川潔子、根本幸栄さんら三十二人が発起人となって、「成年の樹」（紅もっこく）植樹募金を行ない、約二万円集まりました。この記念樹は雪解けどきに体育館前に植えることになっています。

なお、昨年十一月に募集した「はたちの声」の論文の入選者発表と表彰も行なわれました。入選者の氏名は次のとおりです。

一席　本山順子（槇尾）、二席　阿部実佐子（笹口二）、田中幸子（笠木）、三席　広島利郎（学校町二）、本間チイ（入船町二）、村上康昭（河渡新町）

なお、一席は別掲のとおりです。

豪華な晴れ着が目だった

多かった晴れ着

この日出席した五千五百人の半数は女性。その七十五％が晴れ着で装い、会場は和服コンクールといった感じ。

市教育委員会や婦人団体が「なるべく平服で出席を」と昨年末PRしたものの、晴れ着を着てくる女性は依然として多く、また着物自体が中ふり袖からふり袖と、年々豪華となってきています。

場外はあいにくの寒波襲来とあって大吹雪。式を終えた着物姿の娘さん達は積った雪も道に立ちおうじょう。タクシーを拾おうにも拾えず、吹雪の中で右往左往といったありさま。

市教育委員会では「来年の成人式こそは、ふだん着で出席を」と呼びかけています。

はたちの声

1席入選

成人式を迎えて

―私をささえているもの―

本山順子（槇尾）

無限への挑みささやかな文学の
　いとなみをかく思う時あり

「あなたをささえているのは何なのですか」と問われることがある。今まで私は夢中で生きてきた。私は真剣だった。自分でやれるだけのことはやってきた気がする。私はいつも志気に燃えていた。何かやらねば、と思う。それが人に不思議に映ることがあるらしい。私が短歌を作るようになって、もう八年になる。なぜ、じょうずでもないこの道をあきらめきれないかと言えば、傲（ごう）慢かもしれないが、私が地上に存在した、という足跡を残したいからなのだ。ひょっとして、それは私の存在以上にもろいものなのかもしれないが、試みようとする努力は私が生きてゆく過程において、大切なものであるような気がする。私は答える。「私をささえているもの、それは私から生まれる貧しく頼りないことばたちと、文学を通じて得た、幾人かの大切な友だちです」

私は恵まれた環境を持たなかった。けれども、それは私に何の悪い影響も与えなかった。家庭教師をしながら、育英会の特奨生として高校を卒業すると、世の中に逆らって、自分の人生を自分で開拓してみようと、周囲の反対を押しきって上京。一年間、ある上流家庭で奉公をした。そこで人間の裏面を見たような気がする。手はガサガサに荒れて、握るとあかぎれから黒い血が吹き出た。そんな生活の中で、私は人生に対して何かをつかもうと必死だった。自分の存在理由と自分の可能性を確かめたかった。一生縁のなさそうな、緑の豊富な高級住宅の並ぶ静かな郊外、私は貧しく働き続けている父母のことを思った。

世の中の価値と
　自分で思う価値と
　　常に違（たが）えていること
　　　ちする

私は高校卒業と同時に、大学の通信教育を始めていた。これも私をささえているものの一つである。何かに真剣に立ち向かっていて、それによって自分の生を肯定したかった。通信教育においても、かけがえのない友人を幾人か得た。さまざまな苦難を脱っして学ぼうとする若い仲間のたくましい姿。

人間とは、何とすばらしいものだろうと、よく思う。目的を持って進んでいる仲間たちの気力。私はつくづく通信教育を始めてよかったと思う。私達の中には、昼間の学生にはない一種の気迫がある。大学に在籍している間に学ぶだけでなく、それを足がかりとして、もっと進んでゆくべきなのだと、誰しも思い始める。私は、スクーリング出席のため、二年めの夏、奉公先から暇をもらった。そして昨年九月、公務員として新潟市に一人で赴任し、今は部屋を借り、夜は読書や勉強に費やしている。およそ二十歳の女性がやっているようなけいこごとには一切手を出していない。今のうちに、まだ他にしなければならないことがあるような気がするからなのだが、ひょっとして、おいてきぼりにされているのかもしれない。女性啓蒙（もう）を生涯の仕事だと考えたことがある。女は家庭に閉じこもってしまうべきではなく、もっと社会的に広い視野に立って生きていかねばならないと思うのだ。それは女性として本来なすべきことを放棄することではなく、それらを果たして更に人間性と知性を備えた、新しい女性像である。

私もいつかは妥協してしまうのかもしれない。けれども今は、まだ若い。私は自分の人生を自分で究めたい。幸い、現在の職場においては、理解のある上司に恵まれ、スクーリングにも出席させてもらうことができた。周囲の人達も好意的で、それゆえ一生懸命やらねばならないといつも思い、仕事にも熱意がわく。自分の仕事は自分の計画によって進めることができ、それゆえ責任もある。日暮れには新潟市西端の越後平野の荘厳な夕焼けも見ることができる。長野県に近い山村に生まれた私は、自然の息吹きの感じられない所では生きてゆけそうにない。

尊きもの一つほし疲れのみ残る
　おのが心の深きところに

誰もかも信じていたき心湧（わ）かせ
　角田弥彦の宵は夕焼ける

卒論には、宮沢賢治をテーマにしたいとひそかに考えている。彼の童話の中の、仏教的なかなしみに強くうたれてから、おとなになっても失われない美しい心のための児童文学に、私のなすべきことがあるような気がしてきている。そうして願わくば、生涯にせめて一編の、人の心に残る童話を書きたいものである。

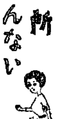
市営住宅は2,425戸

曽野木団地に全力投入

―46年完成めざす―

市役所あんない ⑨

―住宅課の仕事―



○…住宅課は本庁の八階にあり、大西課長以下二十四人。庶務、管理、工務、宅地造成の四つの係りから成り立っており、住宅に困っている方々のお世話をしています。

○…おもな仕事といいますと大きく二つに分けられます。一つは、家を建てたいという人に、安心して買っていただける宅地分譲と所得が低く住宅に困っている人にお貸しする公営住宅の事務的な仕事。もう一つは宅地造成と住宅建設という工務の仕事です。

○…仕事の流れとしては、庶務係での土地買収が終わると、宅地造成が計画的に行なわれます。造成後は工務係が設計した図面に従って住宅の建設が技師の監督の下に続けられます。この間に庶務係は「宅地分譲」を、また管理係が「公営住宅」をそれぞれ募集し、受け付けから抽選、引き渡しまでの事務的な仕事をやります。

○…その他、庶務係は課の予算や庶務的なこと、管理係では市営住宅入居者のはあくや家賃徴収経理、申し込みの受け付け、それに不正入居や無断増築の取り締まり、払い下げ事務など行なっています。工務係では住宅の工事をする一方修理面をも担当しています。

○…管理戸数は二千四百二十五戸、徴収使用料は年間額で約七千四百万円になります。現在四十六年までの五カ年計画で曽野木団地の完成をめざして仕事に励んでいます。

▼窓口の弁

申し込み者に対して住宅の数が少ないことから、すぐに入居できないとか限らずしも希望する所に入居できないこともあります。そんな点をご理解いただきこの実情にご協力ください。

電話一本で家の健康診断
新増築のご相談を

建築部
板金部
左官部
電器コーナー

住宅の新・増・改築、店舗、倉庫、車庫、テラス
外部下見、屋根、流し等
壁、タイル、モルタル浴室、土間コンクリート等
新増築の場合は特に新建材の見本を豊富に取りそろえております。
簡単な設計は無料でサービスいたします。

家の診療所
新潟市上大川前十一
電話代(2)〇九三〇
(2)四六一二

募集
食堂部主任（未経験者を優遇します）　年令30歳以上　給3万～4万
食堂部従業員（男、女、アルバイトも可）　年令16歳以上　給2万以上
1階営業時間　朝8時30分から夕8時まで
昇給年10%以上、賞与年2回 各1カ月以上
年休、旅行、永続勤務者、賞与等あります
かに料理・釜めし
2階営業時間　午後3時～午前2時まで

かに料理・釜めし専門店
ふじ井
新潟駅前北陸ビル裏
電話45－1666

—開店記念全店まぐろ　サービスデー（毎月20日）—
1人前　150円
日頃のご愛顧に感謝し，ご来店のお客様に特別料金でサービスいたします。
（ただし石山店はのぞく）

弥助寿司
本店　新潟市西堀前5　電(23)1484 (22)5956
東堀店　新潟市東堀前通6　電(23)3422
西堀店　新潟市西堀前通6　電(23)4030
石山店　石山団地前　電(7)6855

最新衣裳数100点展示
春の結婚貸衣裳展
明26日～2月11日
期間中ご予約の方全衣裳2割引き
■期間中ご来場の方に粗品を
ご予約の方には豪華記念品を進呈！
貸衣裳　丸正
新潟市明石1（横断橋角）電話45－4705

この欄の広告の取り扱いは新潟広告センターへ